

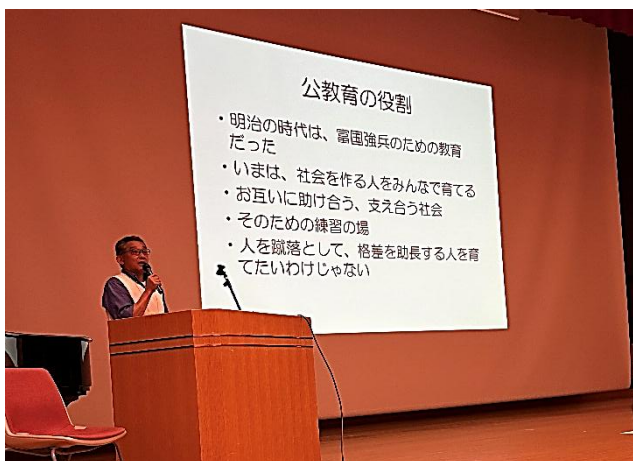


4月30日本校で飯網町学校職員が行われました。町内の小中学校の先生方が一堂に会し、今年度の活動計画を確認しました。

また、飯網町を拠点に、障がいのある方々が、住み慣れた地域で自分らしく生活できる社会の実現を目指し支援を行う特定非営利活動法人「SUN」の理事長藤村出さんの講演を聞きました。

発達障がいや自閉スペクトラム症の特性についてわかりやすく解説をいただいた後、インクルーシブな社会を作るために学校教育にはどんな役割をもっているかについて話を聞きました。

障がいのある、なしに関わらず、私たち教職員が子どもたちに対してどのような考えをもって、ひとり一人に合った支援をしていくかについて考えさせられる時間となりました。



### 公教育の役割

- ・明治の時代は、富国強兵のための教育だった
- ・いまは、社会を作る人をみんなで育てる
- ・お互いに助け合う、支え合う社会
- ・そのための練習の場
- ・人を蹴落として、格差を助長する人を育てたいわけじゃない



5月1日の参観日は恒例の「CRカフェ」がオープンしました。今回のメニューは「ピザ」。トマトやハムなどをトッピングしたものから、チョコやはちみつ、ジャム等のデザートピザまでいろんな組み合わせがズラッと並んで選ぶのが大変でした。生地も柔らかくておいしかったです。ごちそうさまでした。



飯網町吹奏楽クラブの生徒が、校長室に来てくれました。「5月末に計画されているクラブの壮行会に、選手を応援する「コンバットマーチ」を演奏したい」と提案してくれました。

去年は、先生が中心に有志の生徒を募って計画したのですが、今年は生徒の皆さんに企画して欲しいと思っています。